



2021年 11月

第317号

The Service Club of The YMCA

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	山本 英次
副会長	茂木 稔
書記	花輪 宗命
会計	小口 多津子
直前会長	花輪 宗命
担当主事	中里 敦
プリテン	茂木 稔 山本 英次 大久保 重子

国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
 スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
 アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」
 スローガン:「健康第一」
 東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
 あずさ部部长 長谷川 あや子(八王子)
 主題:「道を拓く〜愛と協力によって」
 クラブ会長 山本英次ぐ 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

今月の聖句 (2021年11月)

平和を造る人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。義のために迫害された人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。

(新約聖書・マタイによる福音書5:9~10)

あずさ部部长として歩んだ4か月

長谷川あや子

10月16日、皆さまの絶大なるご協力の下、無事に第25回あずさ部憩いの森部大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。

部長としての準備は昨年2月、次期あずさ部部长として承認された日から始まりました。今年3月には次期クラブ会長・部役員研修会がZoomで開催されました。

「部長を囲んで」の時間をどのようにしたら皆さんと交流ができるか考えました。欠席の方には自己紹介の文を書い

11月第一例会プログラム (Vブリッド併用)

(担当B班 久保田・花輪・望月・福田)

日時: 11月13日(土) 18:00~20:00

会場: 八王子市北野事務所2F

受付: 花輪 司会: 久保田

開会点鐘	山本会長
ワイズソング(伴奏並木)	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	山本会長
聖句・卓話	並木 真

「多文化共生のまちづくりを目指して」

八王子交際協会 花輪豊子さん

東京YMCA報告 中里

連絡事項 山本会長

スマイル 望月

Happy Birthday 山本会長

閉会点鐘 山本会長

会食 一同

先月の例会ポイント (10月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	
		0g	
メン	13名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0
円			
出席率	100%	累計	0
円			
メネット	0名	スマイル	9,800
円			
ゲスト	2名	累計	31,200
円			

て頂き私が代読しました。画面越しの初顔合わせでしたが和やかな楽しいひとときでした。あずさ部の出席者数、断トツでした！

7月に入るとすぐ第1回評議会です。ハイブリッド評議会のため不安でしたが、ホストの東京たんぽぽクラブの協力でスムーズに進行出来、嬉しかったです。

会場16名、Zoom34名の参加者でした。部長公式訪問も7月から始まりました。まだ甲府クラブ、甲府21クラブ、東京西クラブ、東京八王子クラブしか訪問していませんが、Zoom例会のクラブには出来るだけ毎月出席しています。

部大会の準備も始まり、4月に高尾わくわくビレッジの予約、8月上旬には部三役と菅野さんとの打ち合わせを行いました。コロナ感染が落ち着いてくることを期待したのですが、8月中旬から感染者数は止まるところを知らず、やむなくZoomでの開催を決断いたしました。

あずさ部としては初めてのZoom部大会、どれだけの方が参加して下さるか心配でしたが、あずさ部71名、役員会メンバーと他クラブ15名、計86名のお申し込みを頂きました。記念講演も並木真さんが快く引き受けて下さり嬉しいことでした。Zoom操作は中里さんに全面的にお願いし、準備は念には念を入れて整えたつもりです。

それでも当日が近づくとつれて緊張が増しましたが、そんな不安を消してくれるような聖句を並木信一さんが選んで下さいました。「涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。



あずさ部大会のZoomの中で話す長谷川部長

種の袋を背負い泣きながら出て行った人は束ねた穂を背負い喜びの歌をうたいながら帰ってくる（詩編126・5-6）です。何度も何度も読んでいたうちにとても安らかな気持ちになりました。

私の前には24人のあずさ部部長がいらっしゃいます。あずさ部の基礎を作った方々に感謝し、第25代部長職が全うできますよう力を尽くします。皆さまと共に楽しい充実した一年にいたしましょう。

ZOOMでのあずさ部会について

久保田貞視

これまであずさ部の部大会ではZOOMを利用したことはなく、昨年度はコロナ禍の中でも高尾わくわくビレッジにおいて対面で開催されました。今年も高尾わくわくビレッジで開催予定でしたが、予約した8月末ごろから感染が拡大し、急遽、ZOOMでの開催に切り替えました。

既に6月の東日本区大会や8月のアジア・太平洋地域大会、最近では東新部部大会や関東東部部大会もZOOMで開催されており、多くのクラブが例会をリモートでの開催が普及してきましたが、あずさ部部大会をZOOMで開催するには一抹の不安はありました。しかし開催してみると、部の各クラブの参加者は自宅やオフィスにいて別々に参加するのですが、全員の顔を名前と共に見ることが出来、ある程度の臨場感はありました。

第25回あずさ部懇いの森部大会には多くの区の役員と共に部内外のメンバーに加えてIBCの高雄ポートクラブのアンナさんも参加していただき、74名の参加者となりました。通常の部大会と同様に長谷川部長の開会点鐘から始まり、ワイズソング、聖書朗読と祈り、山本会長の歓迎の挨拶、部長挨拶、来賓の祝辞は順調に行き、記念講演の並木真ワイズのパワーポイントを使ったご自分の略歴、子供の頃のYMCAとの関わり、大学時代のユースボランティアリーダーの体験、講演の「タネと野菜のエトセトラ」も対面と変わらず、非常に良かったと思います。

ただ、懇親会は次期部長の挨拶、各事業主査の報告、アピールは、花輪ワイズの司会と中里ワイズの画面共有がうまく作用し、対面と変わらず進行しました。しかし、他の部大会でも共通ですが、対面のように参加クラブの紹介や通常の懇親会の全員が一体となった盛り上がりには乏しく感じられました。今回のZOOMでの部大会は司会者・挨拶を含めたスピーカーの音が通り非常に良かったとは思いますが、しかし、懇親会を盛り上げ、部の一体感を醸成するには、早期、コロナ禍が収束し、対面でのアルコールも入った懇親会が可能となることを期待します。

10年後を心に留めて・・・

小口多津子

先月あずさ部部大会が、大会初めてのZOOMで無事に八王子クラブが、お役を果たして終わりました。

少ないメンバーの中を、部長の長谷川あや子さんが見事に進行の割り振りをされたお蔭で、滞りなく進められ、中里主事のZOOM操作も完璧になされて、並木真さんの講演では爽やかな心地よさを味わいました。それはクラブ全員が、気持ちを一つにして同じ方向を見ていたからだ、皆で納得しました。

クラブで部長に推薦されてからの長谷川さんの部大会への思いは完璧で、毎回の例会の中ではその気持ちを伝えることに始終されました。それがクラブの気持ちを一つにしたと思います。

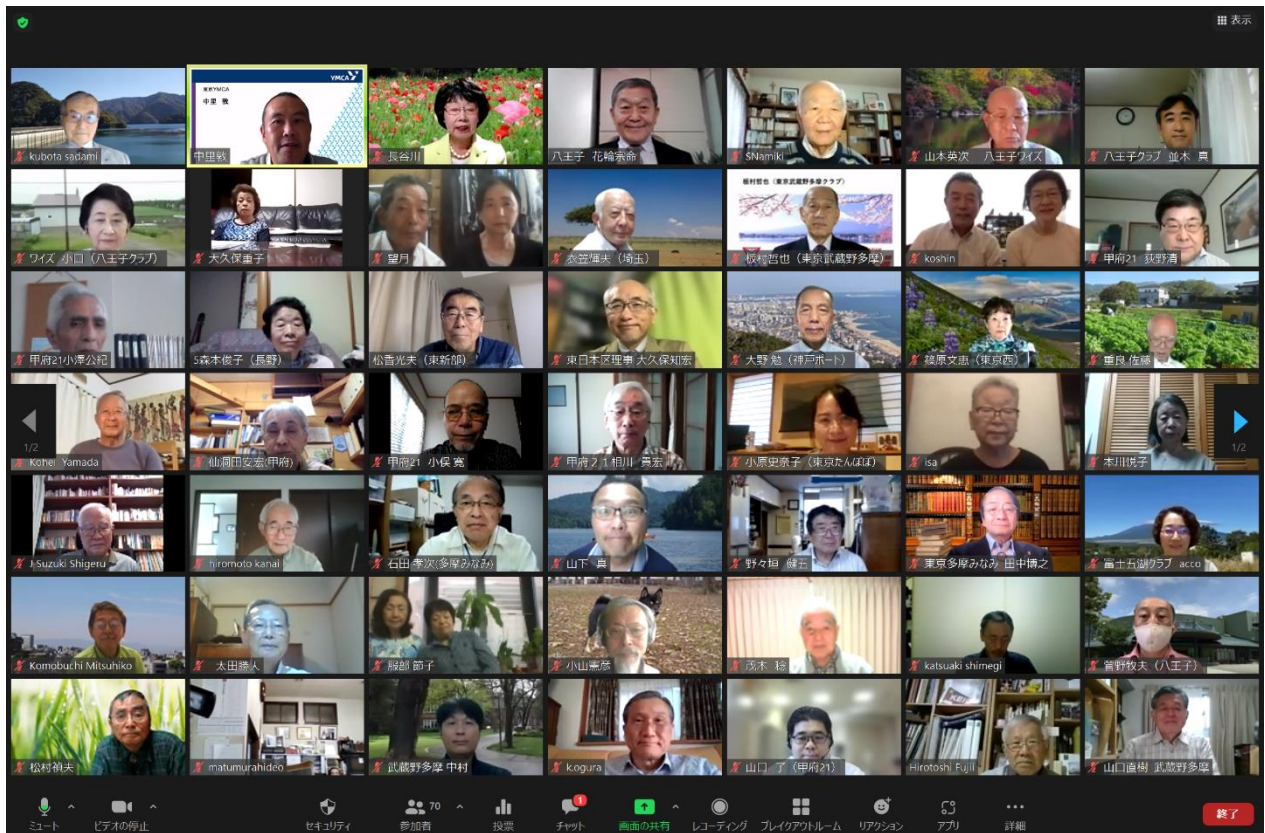
私達は例会に ZOOM 操作が必要と感じたのは、やっと今年の2月頃でした。例会会場の市の事務所が使えないということでは、この方法しか例会が持てないと認識し始めて、誰もが手探りでした。パソコンの個人レッスンを受けたメンバーもいました。また例会のたびに、お互いにラインやメールで教え合っのスタートでした。そして部大会には全員で顔を出そうというのが合図となりました。

で顔を思わず見合わせてしまいました。

これまでは誰もがクラブにその順番が来たら、当然のように普通に決めていけることだったのです。次からはちょっと違うのではないかと。今のクラブ内は若い方は3名しかおりません。

真剣にクラブの中身にも目を向けなければという状況にあります。それこそ今は下から持ち上げてくれて、支えてくれているこの若いメンバーの将来を縮ませてしまうのではないかと、思いました。

しっかりと、次に繋げて10年後の部長を幾人もの候補者の中から選べるぐらいのクラブにしていかなければと、その思いは皆で一致しました。



大会当日の一人は、朝から PC の不具合があったのを諦めず、最後まで奮闘していたとのことをお聞きしました。ご自身にとっても、メンバーにも思い出深い部大会となりました。

あずさ部の部長は、部 10 クラブで順番に持ち回りです。これは早くから部則で決められています。先週末にわがクラブ事務会がありました。部大会が終わった直後なので皆でほっとして、安堵の心地よい深呼吸をしました。そしてその時に、ふと次の 10 年後の部長さんとは、話が出て皆

ひつじぐも便り

国際ボランティアサークルひつじぐも

関口 遼

部会に初めて参加して

こんにちは。急激に冷え込んできましたみなさまいかがお過ごしでしょうか。中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも、2年の関口遼です。私は先月10月16日に開催されました、オンライン部大会に初めて参加させていただきました。今回はその時の僕の心境を若者という観点からお話できたらと思います。

そもそも、このような大人数のzoomに参加することが大学の授業以外ではまずないので、緊張もしましたがとても新鮮でした。Zoomで部屋に入りまじりびっくりしたのが、この部大会の規模の大きさでした。全国からさまざまな方々が参加していることにびっくりしました。そして次にびっくりしたことは、同世代が1人もいなかったことです。これが今回一番印象的であったことかもしれません。こういった大人の集まりに呼んでいただいたことがとても光栄なことであります。自分も少しは成長したのかなと思える、そんな一日でした。名前を呼んでいただき、緊張していた自分の中に今回の部大会の参加者の一員であるという自覚が芽生えました。またチャットのほうで自分宛てにメッセージで「歓迎します」といただいたことも非常にうれしく思いました。長谷川さんを始めとしみなさんが温かく迎え入れてくれて、みなさんが温かいからこそこれだけ多くの参加者がいて、内容も充実しているのだと確信しました。直接お会いしたことはありませんがみなさんに人の好きが伺えて、ぜひ対面の部大会にも参加できたらなと強く思いました。お招きいただきありがとうございます。

YMCA便り

中里 敦

冬プログラムの準備が始まりました。プールなどの他、宿泊キャンプも予定しています。子どもたちが大きく成長できる機会がこのまま無事に開催できることを祈るばかりです。また、2022年4月に向けて専門学校の入試、幼稚園・こども園の入園に向けての準備も始まります。

◆10月15日、「東京YMCA高等学院を支えるためのチャリティーコンサート」が日本基督教団霊南坂教会で開催され、73人が来場した（他にオンライン視聴者22人）。飯靖子氏（オルガン・ピアノ）と飯頭氏（ヴィオラ）による演奏の他、高等学院生徒有志による音楽物語「ピーターと狼」やトーンチャイムの演奏もあり好評でした。当日寄せられた募金も含め益金約17万円は高等学院の活動のために用いられます。

◆「第35回インターナショナル・チャリティーラン」が10月31日に無事に終了しました。「チームレース」には48チームがエントリーし、八王子ワイズからご支援いただいた西東京センターはのんびりと障がいのあるメンバーやリーダーが楽しみました。また、「らくらくウォーク」にご参加いただいた方もありがとうございました。

<東京YMCA主な行事予定>

・「YMCA/YWCA合同祈禱週礼拝」 11月11日 会場：東京YWCAカフマンホール

・「ソシアス2021」 11月13日 会場：東陽町センター（オンライン参加も可）

テーマ：YMCAの会員活動の活性化に向けて

・オンライン講演会「合理的配慮の実際ってどうなってるの？～申請から実際までの流れ～」

今月の聖句によせて（2021年11月）

今月の聖句は、有名なイエスキリストによる山上の垂訓の一節です。平和を愛する、また、平和を守るというときに、ともすると、自分の周囲のみを見渡して、この穏やかな生活が乱されないために、波風を立てせないでそっとしておこうといった、消極的、現状肯定的な姿勢になりがちです。しかし、この山上の垂訓で言われるのは平和は創造するものであり、このために必要なのは、積極的で能動的な姿勢です。

10月24日に、日本原水爆被害者団体協議会代表委員として、永年にわたり被爆者の先頭に立って核兵器廃絶を世界に訴えてきた坪井直さんが96歳で永眠されました。20歳の専門学校生（現・広島大学工学部）のとき爆心地から1.2kmで被爆し、全身に大やけどを負い、約1カ月間意識が戻らず、終戦も知らない中、多くの人の支えにより一命をとりとめました。この体験が核廃絶運動の原点となったということです。6年前の、被爆70年の夏、90歳の坪井さんは、広島で開催された国連軍縮会議で、「最後のひと呼吸まで核廃絶をあきらめない」と訴えられました。この訴えは、世界中の人々を動かし、今年1月の「核兵器禁止条約」の発効となって結実しましたが、これまでの坪井さんの運動への献身、真に平和を希求する人の「ネバーギブアップ」の運動精神が背後にあった成果、ということをお忘れにはならないと思います。「平和を造る人々は幸いである・・・」の聖句に接するとき、坪井さんや核兵器廃絶運動に献身された人々の平安を祈らずにはいられません。

並木 信一

(報告)

◇ 10月一例会

日時：2021年10月9日 18:00~20:00

会場：北野事務所 2階大会議室

出席者：山本、大久保、茂木、並木(信)、小口、長谷川、菅野、中里、久保田、福田、並木(真)、望月、花輪

ゲスト・ビジター紹介：津田敬久さん、酢屋善元さん

議題：

- ①第26回 あずさ部憩いの森部大会~ZOOM~の最終打ち合わせ 担当：長谷川あや子(部長)
- ②フードバンク「えがお」のこと 担当：並木信一

◇10月二例会

日時：2021年10月23日 18:00~20:00

会場：北野事務所 2階大会議室

出席者：山本、茂木、並木(信)、小口、福田、長谷川、中里、久保田、並木(真)、花輪・大久保

議案：

- ◇ ①あずさ部憩いの森大会を終了して総括：長谷川部長
あずさ部部長通信No.5 第25回あずさ部大会特集
- ②在京ワイズ新年会の報告：山本会長
- ③11月第1例会卓話者・花輪豊子メネットについて：
- ④12月のクリスマス例会の概要(計画)：並木C班長
- ⑤チリティ・コンサートの実施とその概要(計画)：
久保田書記

11月卓話者紹介

花輪 豊子さん 略歴

- 1977~1979年 英国 オックスフォード市に滞在
- 1989~1990年 フランス パリ市に滞在
- 2006~2007年 英国 オックスフォード市に滞在
- 1979~1996年 子ども英語教室、英語教育に関わる
- 2007年 八王子市交流課設置のサポートデスクに着任
- 2008年 八王子国際協会設立と同時に事務局・サポートデスクに着任、現在に至る
- 2008年 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
多文化社会コーディネーターコース受講一期生

11月の誕生日の皆さん

- 中里 孝子さん 11月1日
- 福田 勝江さん 11月11日
- 花輪 豊子さん 11月12日
- 山本 英次さん 11月26日

高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

コロナウイルス感染者も少し落ち着いてきて、お客様も少しづつ増えてきています。

10月の宿泊者数は夏休み時期を除いて、久しぶりの1000人越えになりました。学校団体の宿泊も増えてきています。活気が少し戻ってきた感じでした。

そんな中わくわくビレッジの木々は、だいぶ秋の色合いを増してきました。桜の並木はほとんど葉っぱを落としてしまいましたし、今はけやきが色づいてきています。そんな秋色に染まってきている山の中で変な色に枯れてしまった木々があります。

昨年あたりから、わくわくビレッジ周辺の山では檜枯れがはやり始めています。

カシノナガキクイムシという虫がナラヤシイ、カシといった木の幹に穴を開け、ナラ菌を増殖させ、水を吸い上げる機能を阻止することによって木々を枯らしてしまうようです。

先日「森の会(わくわくビレッジの森林ボランティア)」が森の整備に来ましたが、わくわくビレッジの森の50本近い樹木が何らかの影響を受けているとのことでした。

詳しい方に話を伺ったところ、確かにカシノナガキクイムシが増えているようです。昔は木を伐採して燃料に利用していたことにより、淘汰され健康な森を形成していましたが、今は手付かずとなってしまう不健康な状況になってしまっているために、虫が増加しているという説もあるようです。ある程度の木が枯れてしまうのは、「弱っている木は菌の侵入を阻止できない」という自然の流れなのかもしれません。

しかしながら枯れた木をそのままにしておくと、台風や嵐で倒れて建物やお客様にとって危険なので、安全を確保する上でちゃんと伐採していかなければなりません。いろいろ勉強していけないといけませんね。

